

カリキュラム

機構施設名： 岡山職業能力開発促進センター

実施機関名： 株式会社パワートレイン

A. バックオフィス	新技術活用	DX人材育成の進め方
------------	-------	------------

コースのねらい	自社内においてDXを推進するにあたり、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化、風土を変革する人材の育成方法を習得する。
---------	---------------------------------------------------------------------------------------

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	
講義内容	1	DXリテラシーと業務改革	(1)DXリテラシー標準とは 経産省が発行しているDXリテラシー標準Ver1.0をもとに、DXとは何か、DXリテラシー標準とは何かについてその概要を解説します。その上で、自社に必要な人材とその育成方法についても学習します。 (2)DX推進に関する組織体制 DX推進においては、経営者のコミットメントの元、組織的に取り組む必要があります。ここではDX推進のための組織体制および必要な人材、目標設定等について解説します。 (3)DX人材の確保 DX推進においてはその推進を担当する人材の確保も重要なポイントです。ここではDX人材とはどのような人材なのか、確保するためのポイントについて解説します。	1.0 0.5 0.5
	2	DX推進を担う人材	(1)DXリテラシーを身につけた人材イメージ DXリテラシー標準を参考に、DXリテラシーを身につけた人材のイメージについて解説します。 (2)推進役と各部門の連携 DXを進める上で、推進役(例:DX推進部)と各部門との緊密な連携が重要なポイントになります。経産省の「DX推進指標」とそのガイダンスを参考にそのポイントを解説します。	0.5 0.5
	3	DX人材の育成方法	(1)推進役の育成 DX人材の中でもその中心を担う推進役の育成について、どのようなスキルが求められるのか等を解説します。 (2)リスクリング DXを進める上では新しいことを学び、新しいスキルを身につけ実践し、そして新しい業務につくこと(リスクリング)が重要なポイントになります。 (3)育成方針の作成【演習あり】 講座の中で学習してきた要素を参考に、自社でのDX人材育成方針を作成する演習を行います。	0.5 1.0 1.5
	合計時間			6.0